

【個人】

提出 平成 31 年 3 月 21 日

山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名： 韓 国 岳 （霧島 1,700m）		（宮崎県えびの市）
入山日：平成 31 年 3 月 15 日（金） 日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		韓国岳山頂より噴火口跡を臨む
参 加 者	L：報：記： 鈴木	
	男 1 名、女 名、計 1 名	
天候：曇り時々晴れ		
3 月 15 日 （金）	8：20 えびの高原—8：30 大波池側登山口—9：00 韓国岳避難小屋—10：00 韓国岳 10：15—11：00 避難小屋—11：30 えびの高原下山 行動 3h10	
荒天候時のエスケープルート： 引き返す		
装 備 と 食 糧	共同装備：共 同 食：すべて無し	
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、傘、防寒具、コンパス、地図、ストック、グローブ、軽アイゼン、テルモス（水）、ツェルト、帽子、携帯トイレ、 個人食： 昼食、行動食	
感 想	硫黄山の火山規制で小林市方面からの国道と登山道が封鎖され、一旦中止した本山を可能なアプローチを見つけ登頂した。歩き始め平坦な雑木林の中、大波池付近まで来たが池は小高い丘陵にブロックされているためその姿は見えない。避難小屋を過ぎほどなく木製の階段が現れるが、頂上付近までいやというほど続き大腿四頭筋の悲鳴が山肌に木霊した。振り返ると先ほど見えなかった大波池が全容を現し、頂上に着きその先を見下ろすと巨大な噴火口跡が現れ、多彩な風景がのんびりする暇を与えない。ガスで時より視界が遮られたものの、予定の九州 4 座を登り切り満足感に浸りながらの下山となった。	